

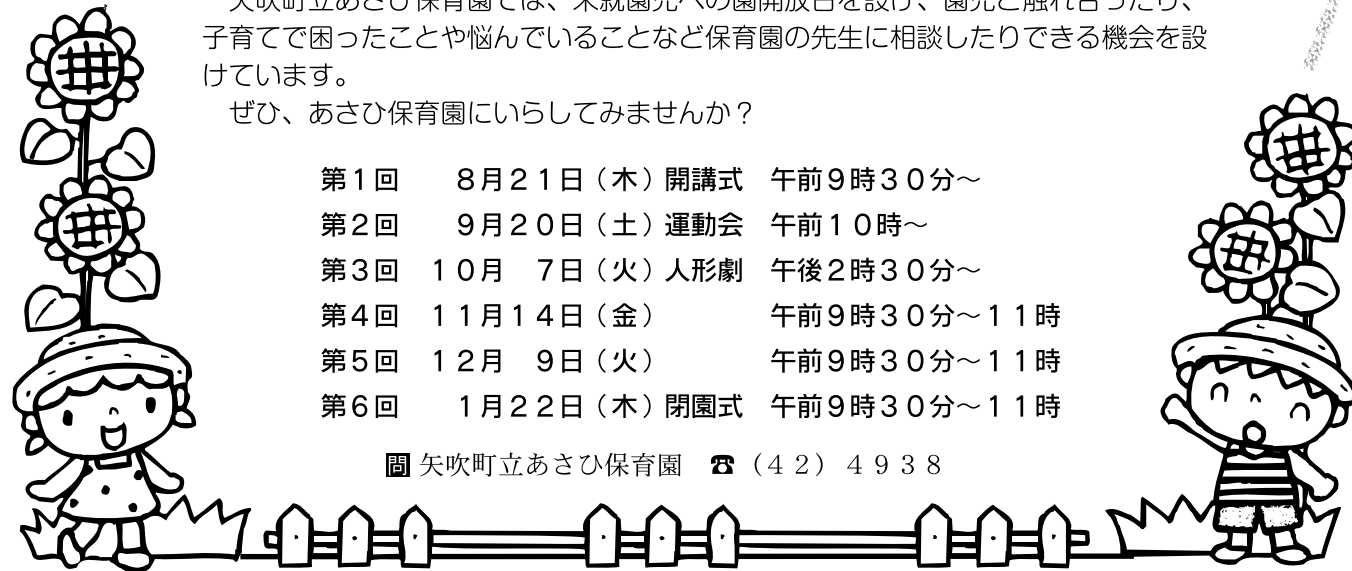
～乳幼児の子育てをされているお家の方へ～  
**子育て支援 園開放日のお知らせ**

矢吹町立あさひ保育園では、未就園児への園開放日を設け、園児と触れ合ったり、子育てで困ったことや悩んでいることなど保育園の先生に相談したりできる機会を設けています。

ぜひ、あさひ保育園にいらしてみませんか？

- 第1回 8月21日(木) 開講式 午前9時30分～
- 第2回 9月20日(土) 運動会 午前10時～
- 第3回 10月7日(火) 人形劇 午後2時30分～
- 第4回 11月14日(金) 午前9時30分～11時
- 第5回 12月9日(火) 午前9時30分～11時
- 第6回 1月22日(木) 開園式 午前9時30分～11時

園 矢吹町立あさひ保育園 ☎ (42) 4938



温かいご支援ありがとうございました

～緑化推進のために～

**矢吹中学生が緑の募金活動**

矢吹中学校生徒会が全校生徒に協力を呼びかけ、5月15日から30日にかけて、緑の募金活動を実施しました。

矢吹中学校では生徒会のテーマの一つに「募金活動」を掲げており、以前行われたフィリピン台風募金活動に引き続き、今回も生徒たちが自主的に活動を行ったものです。

5月30日には町役場で贈呈式が行われ、生徒会顧問の伊藤慧教諭と矢部智裕生徒会長(3年)から、町緑化推進委員会の野崎会長(町長)へ、生徒会分6,849円と教職員分4,115円の浄財が手渡されました。

なお、この浄財は後日、福島県森林・林業・緑化協会へ送金されました。



～奨学資金・図書購入に～

**仲島商事が浄財を寄附**

仲島商事(鍋内)の仲島幸男代表取締役より、町の教育振興のために役立ててほしいと、浄財20万円が寄附されました。町教育委員会では、15万円を奨学資金貸与基金に積み立て、5万円を図書の購入資金として役立てることにしています。

仲島商事は、昭和54年から先々代の祖父、先代の父、そして現代表取締役と3代にわたり毎年寄附を続け、今年で36年目となります。

6月9日には、町教育委員会より仲島代表取締役へ感謝状が贈られました。

**ふるさと思いやり基金**

子どもの教育・育成対策、まちづくりのために、ご支援いただきました。

- ・本柳吉宗 様
- ・須田節子 様



**個人線量計(ガラスバッジ線量計)貸出しの申し込みを受け付けします**

原発事故の長期化に伴い、自身が受けている放射線外部被ばく量を測定し、不安の軽減や健康管理に役立てるものです。

1. 対象者 全町民 ※今年6月に線量計が配布されている方(小中学校・幼稚園・保育園及び一般で申し込みされている方)は、引き続き線量計が送付されますので今回の申込は不要です。
2. 申込方法 7月14日(月)までに保健福祉課へお申し込みください。  
※提出いただく書類(申込書、同意書)があるため、電話での申し込みはできません。
3. 測定期間 9月1日(月)～11月30日(日)
4. 実施内容 ①申し込みをした方に線量計を送付いたします。②自宅で3か月間測定し、線量計を返送いただきます。③測定結果は、個人通知いたします。
5. 費用 無料(貸出しなので紛失・破損等にはご注意ください。)

園 保健福祉課 健康増進係 ☎ (44) 2300

**矢吹町内農産物等の放射性物質検査結果のお知らせ**

矢吹町放射能測定センターで測定しました町内農産物と井戸水の放射性物質の検査結果は、次のとおりです。

測定は予約制となっておりますので、事前に申し込みをしてください。(電話29-8741)なお、測定できるものは一般流通物を除く、農産物・井戸水・農業用培土等で、測定には1kg、きのこに限り500gからの検体が必要です。

食品衛生法に規定する基準値	セシウム 134, 137 合計値	区分	平成24年4月～
		飲料水	10ベクレル
		一般食品	100ベクレル

(検査日：平成26年5月5日～平成26年6月4日 総数：98件) 単位：ベクレル (Bq/kg)

種類	検体名	検体数	検査結果 セシウム134	検査結果 セシウム137	検体採取地
菌茸類	シイタケ(原木)	1	74.5	279.3	曙町地内
		1	不検出	26.5	三城目地内
タケノコ類	タケノコ	1	12.4	43.7	前田地内
		1	不検出	22.0	花の里地内
		1	5.8	15.5	滝八幡地内
		1	6.1	21.8	大池地内
		1	不検出	10.3	東郷地内
		1	不検出	14.6	明新下地内
		1	6.2	26.2	井戸尻地内
		1	不検出	4.8	滝八幡地内
		1	7.8	31.1	井戸尻地内
		1	14.2	28.3	五本松地内
山菜	タラノメ	1	不検出	13.5	花咲地内
		1	不検出	8.5	花咲地内

以下の農作物等は不検出となっています。

【野菜】 オータムボエム・オカヒジキ・カブ・カラシナ・キヌサヤ・キャベツ・キュウリ・コマツナ・サヤエンドウ・サントウサイ  
 サンドマメ・シマラッキョウ・ズッキーニ・スナップエンドウ・ダイコン・タマネギ・チンゲンサイ・ニラ・ネギ・ハツカダイコン  
 ブロッコリー・ホウレンソウ・ミツバ・リーフレタス・レタス 【果樹】 サクラんぼ・ウメ 【穀類】 ダイズ・ソラマメ  
 【山菜】 サンショウのミ・ヨモギ 【菌茸類】 ハタケシメジ 【その他】 井戸水

園 産業振興課 農政係 ☎ (42) 2115

**時代を担う若者を支援！～若者定住支援助成金の交付について～**

町内に住まいを持ち定住する若者に対し、助成金が交付されます。

活気あふれるまちづくりの実現を目標として実施されるのが「若者定住支援助成事業」です。

「若者定住支援助成事業」とは？  
 <対象者> (次の要件を満たしている世帯であること)  
 ・矢吹町に10年以上定住する意思があり、町内に住居を取得した夫婦  
 ・助成金交付の申請をしたときの平均年齢が40歳以下の夫婦  
 ・夫婦のどちらかが職に就いている世帯  
 ・町税等を滞納していない世帯  
 <助成金額> ・住居の床面積に応じ、120㎡未満は15万～35万円  
 120㎡以上は25万～50万円  
 <申請期限> ・住宅を取得した日から1年以内

マイホームを検討中の方、矢吹町内に住宅を取得してはいかがでしょうか。また、町外の方の申請もお待ちしておりますので、ご友人などでマイホームの取得を検討している方にも、矢吹町内への定住をお勧めください。

※申請手続き等、詳細につきましては下記の連絡先までお気軽にお問い合わせください。

園 都市建設課 管理係 ☎ (42) 2116

# 私のひと言



矢吹町長  
野崎吉郎

## 「梅雨どきの2つの出来事」

今年の梅雨入りは、平年より10日程早かった。ペンを走らせている今は、陰暦では5月。現在の6月は五月雨（さみだれ）の季節という。あらためて、6月の梅雨どきに降る雨を五月雨と呼ぶことを或る本を読んで知った。

梅雨入りは立春から数えて135日目ということも。恥ずかしい限りだ。大体6月の初旬から中旬にかけて、その日から30日間が梅雨どきとなる。例年、6月中旬から7月上旬にかけて、日本列島では雨季が生じ、梅の実がだんだん黄色く熟する頃に降る雨を例えて「梅雨」と呼ばれることになったという。まことに、最もな説明に、また一人頷く。そう言われれば、我家の庭の梅の古木の実は大きくなり、日々色づき始めている。しかし、どうもこの梅雨の時期を私は余り好きでない。子どもは頃からだ。ジトジトと降る雨は気分を滅入らせ、特に古ぼけた家で暮らしていた私の生活空間では、至るところにカビが生え、台所ではナメクジが必ず、その奇妙な姿を

見せていた。いずれにしても、梅雨どきのイメージは総じて良くない。梅雨に雨が降るのには仕方がないと半ば諦めてはいるものの、今年の梅雨入り直後のあの2日間だけは、雨が降って欲しくはなかった。その理由はこうである。

一つには、6月7日に開催された2014日本陸上選手権大会2日目のことだ。その日は、女子400mの決勝が行われた日だ。矢吹町が生んだ、日本女子陸上界のスーパースター千葉麻美選手が走ったのだ。千葉選手の晴れ姿を見、応援するために、今年もいつもの様に、「矢吹町千葉麻美選手後援会」会員20名が試合会場に駆けつけた。前日は小雨。当日の天気の良い雨は降って降って。最悪のコンディションだ。私は思い出していた。6年前の川崎等々力競技場で開催された日本陸上選手権大会も雨であったことを。そのレースは、北京オリンピック参加標準記録「A」の出場権獲得目指して臨んだレースだった。でも、叶わなかった。雨の日は記録が出にくい。しかも、千葉選手は、雨のレースを苦手としているのではないかと、私は思っている。そんな思いを巡らせているなか、レースは始まった。足を運んだスタジアムの殆どの観衆は、千葉選手を応援しているようだ。私たちも第3コーナーに陣取り、声を張り上げ

懸命に応援した。記録は伸びなかった。6年前と同様に。伸び盛りの高校生2人の背中を見てのゴールだった。千葉選手の胸に去来した事は何だったのかは、私は窺い知れない。

時間が経過し、TVで拝見した千葉選手の顔を見て、胸を撫で下ろした。TVでは笑顔と共に、いつもの充実した表情が見てとれたからだった。子育てしながらの女性短距離アスリートは、過去、日本陸上界には誰一人いないという。誰もが今まで成し得なかった、千葉麻美選手の夢の実現を、私たちは見届けたい。二つには、6月9日の開成山球場での出来事だ。その日は、横浜DeNAベイスターズ対東北楽天イーグルス戦が開催された日だ。「矢吹町中畑清監督後援会」として、一般200名、招待された矢吹町の小学生132名、合わせて332名が、中畑監督の応援に駆けつけたのだ。奇しくも、今年も雨。昨年8月の巨人戦は8回頃から、土砂降り。今年も、初回からゲームセットまで雨。しかも、試合内容まで昨年と同じ。いいところなしだった。惨敗だ。しかし、3塁側、レフトスタンドに陣取ったベイスターズ応援団、そして、私たち332名の後援会員は、最後まで懸命に応援し続けた。ベイスターズを、そして何よりも中畑監督をだ。成績は今のと

ころ低迷中だ。まだ前半戦。挽回のチャンスは、まだまだある。この次の試合でも懸命に後援会として応援する覚悟だ。今、応援する仲間を募っている。今年4度目となる次回（日）の横浜球場を予定している。会員の、そして、町民の多くの参加をお願いしたい。ここまで書かせて頂いたように、2つの試合等は、いずれも梅雨の雨にたたられた。私の身近な人たちは、いつか私をこう呼ぶようになった。『雨男が居るから仕方がない』と。そう言われる度に、余計に雨が嫌いになる。しかし、そう言われようとも私はくじけない。諦めない。皆さんと共に二人を応援し続けることを。

以前、私はこの誌面にこう書かせて頂いた。インポッシブル イズ ナッシング（不可能はない）と。矢吹町には千葉さん、そして、中畑さんが居る。お二人は矢吹町の元気の「源」だ。まだまだ可能性を追い求める二人に拍手とこの言葉を贈りたい。うっとうしい梅雨が終われば夏が来る。7月には蝉が鳴く。蝉の鳴き声と共に、お二人の嬉しい活躍のニュースが届くことを祈るばかりです。当面は千葉選手のアジア大会での活躍と、中畑ベイスターズ大躍進を心からお祈りし、今月の私のひと言といたします。

こちら元気 からだ元気  
ご宴会 カラオケ

## 白い館

矢吹駅西口から徒歩3分 旧緑川産業さん隣

白い館 鈴木哲男  
矢吹町本町156-4 1階 電話 0248-21-9310

～JA東西しらかわ～

齋場選びは信頼・安心・いつも身近なJAで

## JA齋苑やすらぎの杜

年中無休・24時間受付

矢吹齋場 TEL.0248-42-2221  
〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町283